

佐喜浜町都呂津波避難シェルター

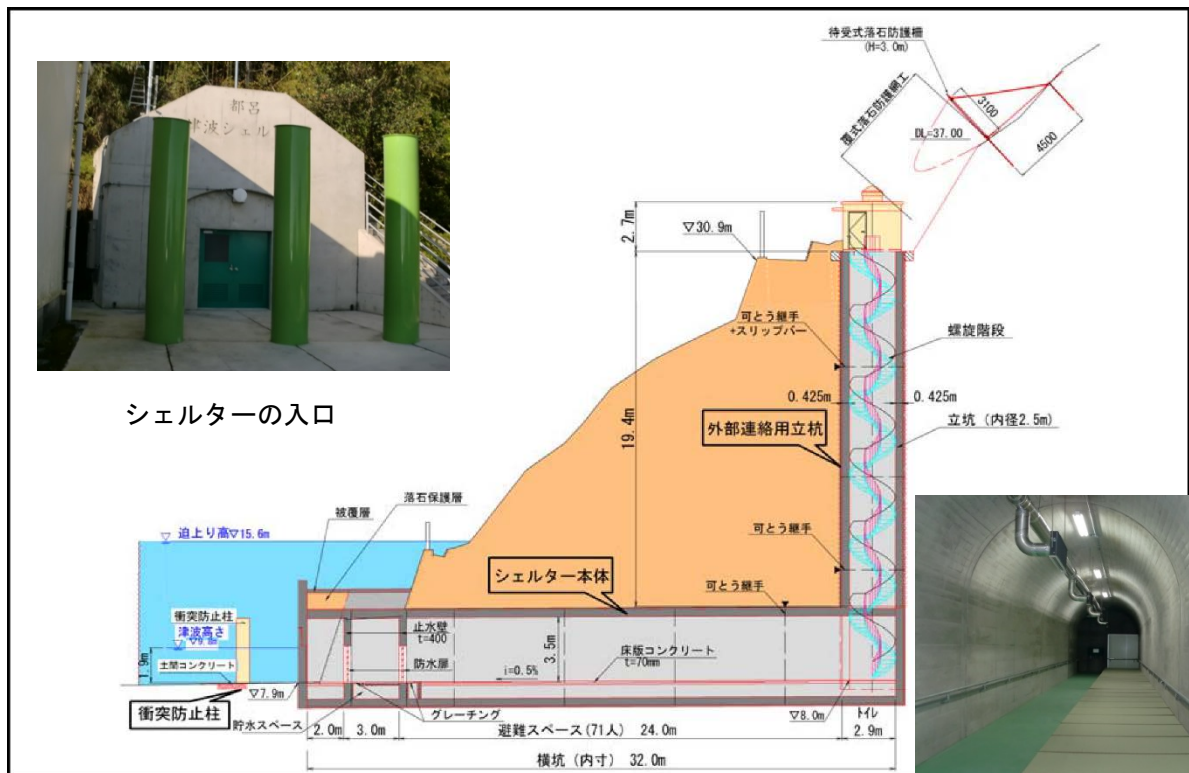
施設管理者 : 高知県室戸市防災対策課
施設所在地 : 高知県室戸市佐喜浜町都呂 1007 番地
調査見学時期 : 平成 29 年 11 月 16 日 (平成 29 年度国内見学会)
施設概要

高知県が進めている南海トラフ地震・津波対策の一環として、高知県が総事業費 353 百万円で建設し、室戸市が管理している施設で、平成 28 年 8 月 25 日に落成式が行われた。シェルター入口付近の想定最大津波浸水深は 10m で、30cm 浸水する津波の想定到達時間が約 16 分と速いので、高齢者の避難が困難なため、また、山地災害の危険性や海岸から山岸まで約 50m しかないこと等の地形状況を考慮し、海岸に近い崖に横坑を掘削して避難場所が世界でも初めて建設された。

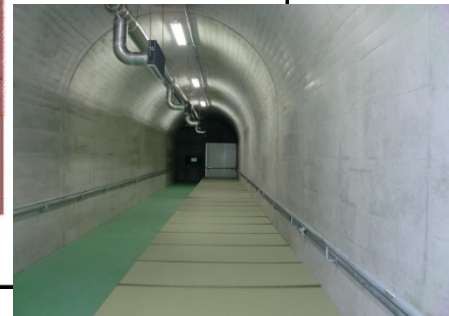
横坑は幅 3m、高さ 3.5m、奥行 33m で、奥に直径 2.5m、高さ 23.9m の立坑が建設され、螺旋階段で上に移動することもできる構造である。出入り口の鋼製管理用扉の中に、さらに 2 重の鋼製止水扉を設けて、避難者の安全を確保している。横坑の中には畳型ベンチが設置され、休息できるようになっている。照明、換気設備、出力 6KVA の発電設備、簡易トイレ等が設置され、ベンチの中に飲食用の備蓄もしている。基本的に、71 名 (1m²/1 人) が 24 時間避難できる設備になっている。



シェルターの入口



シェルターの縦断面図



シェルターの横坑内部